



ワークライフバランスとは、「仕事と生活の調和」を意味し、「一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことをいいます。

## 青森県看護協会ワークショップにて 当院の取り組み内容を発表しました

去る1月17日、青森市・県民福祉プラザにおいて、青森県看護協会による「平成26年度看護職のワーク・ライフ・バランス推進 フォローアップワークショップ」が行われ、当院の取り組み内容を発表してきました。

会場には、WLB推進事業に取り組んでいる9施設のスタッフ60名ほどと県看護協会会長を始めとする事務局の方々、その他多くの施設からの参加があり、昼をはさんで、6時間を超えるワークショップ（WS）でした。

事業参加3年目、2年目の施設が順次発表した後、事業参加1年目の施設として、当院からは三病棟の長利委員が、昨年中の活動内容と27年度の方針についてスライド発表しました。

講師の先生方からは、取り組み内容に関して、1年目としては十分すぎる進捗状況であると高評価をいただき、また、スライドの最後にスタッフ一同の集合写真を提示したことで、病院全体で取り組んでいることをアピールで

きていて好ましいと、発表に関してもお褒めの言葉をいただきました。参加したスタッフ全員感激するとともに、今後の取り組みに対し、改めて身を引き締める思いを強くしてきました。

発表担当の長利委員、大変お疲れ様でした。



左記のワークショップ（WS）について、2月12日、大会議室において、院内報告会を行いました。

長利委員がWS当日のスライド発表を行った後、他施設の取り組み状況について、福土委員からは看護職以外のスタッフ、特に事務職の協力の必要性が報告され、小田委員からは、黒石病院の内容について、「笑顔」をキーワードに3年間取り組んだ成果が紹介され、目標を持ち、解決しようという前向きな姿勢の大切さが述べられました。

看護師中心に、25名の参加をいただきました。ありがとうございました。

**黒石病院の取り組み**

WLB取り組みのきっかけ

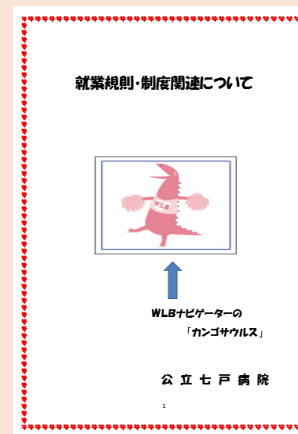
師長が疲弊し笑顔が消えていた  
師長を支える環境にない

**どうしたら働きやすい職場になるのか**

必ず何か目標を持ち、  
解決しようという前向きな姿勢に

現場の満足度は決して良くなったわけではない。  
でも、取り組まなければ何も始まらない!!

一人一人が小さな一歩から実践してみよう



**各部署に、当院の就業規則・制度関連についてまとめた冊子を配布しました。  
ご覧いただけますか？**

**“目からウロコ？” “もありますよ！！”  
皆さん、必ず一度は内容確認してみてください**